

週刊 女川湾海況速報 (No.46)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

6 月 3 日から 7 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温は上昇したが、塩分は下降。経時的には期間を通じて表層（0m）の水温は上昇したのに対し、塩分は下降。底層（5m）では 5 日と 7 日に水温が上昇し、そのとき塩分は下降。7 日には 32PSU 以下を示した。

水深 [m]	6月3日 (月)	6月4日 (火)	6月5日 (水)	6月6日 (木)	6月7日 (金)
0	12.5 (32.1)	14.6 (32.1)	14.8 (32.0)	15.4 (31.5)	16.0 (30.6)
5	11.8 (32.7)	11.5 (32.9)	13.1 (32.4)	11.0 (32.8)	14.8 (31.2)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。*3 日と 4 日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で下降。経時的には期間を通じて底層で 1FTU 以上の比較的高い値を維持。5 日と 7 日には特に高い値 (> 1.4FTU) を示した。(単位は FTU)

水深 [m]	6月3日 (月)	6月4日 (火)	6月5日 (水)	6月6日 (木)	6月7日 (金)
0	0.8	1.0	0.7	1.3	1.1
5	1.1	1.2	1.4	1.0	1.5

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降したが、7~10mg/l 台を示した。経時的には期間を通じて表層で下降傾向。底層では 5 日と 7 日に一旦下降し、8mg/l 台を示したが、それ以外の期間は 9.2mg/l 以上を維持。

水深 [m]	6月3日 (月)	6月4日 (火)	6月5日 (水)	6月6日 (木)	6月7日 (金)
0	10.0	8.1	8.0	7.8	8.0
5	10.2	9.4	8.6	9.2	8.3

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 8.4~14.7℃、32.1~33.3PSU の範囲にあり、鉛直的には水深 5m と 10m の間に大きな水温勾配 (2.7℃/5m) を形成。濁度は 1.0~2.7FTU の範囲にあり、底層 (20m) で最大。溶存酸素は 8.3~10.6mg/l の範囲にあり、表層で最小。

6 月 5 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.7	32.1	1.2	8.3
5	12.9	32.4	1.4	8.9
10	10.2	33.2	1.1	9.7
15	9.4	33.3	1.0	10.1
20	8.4	33.3	2.7	10.6

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。